

都市再生整備計画 事後評価シート  
鳥取駅周辺地区

平成27年3月

鳥取県鳥取市

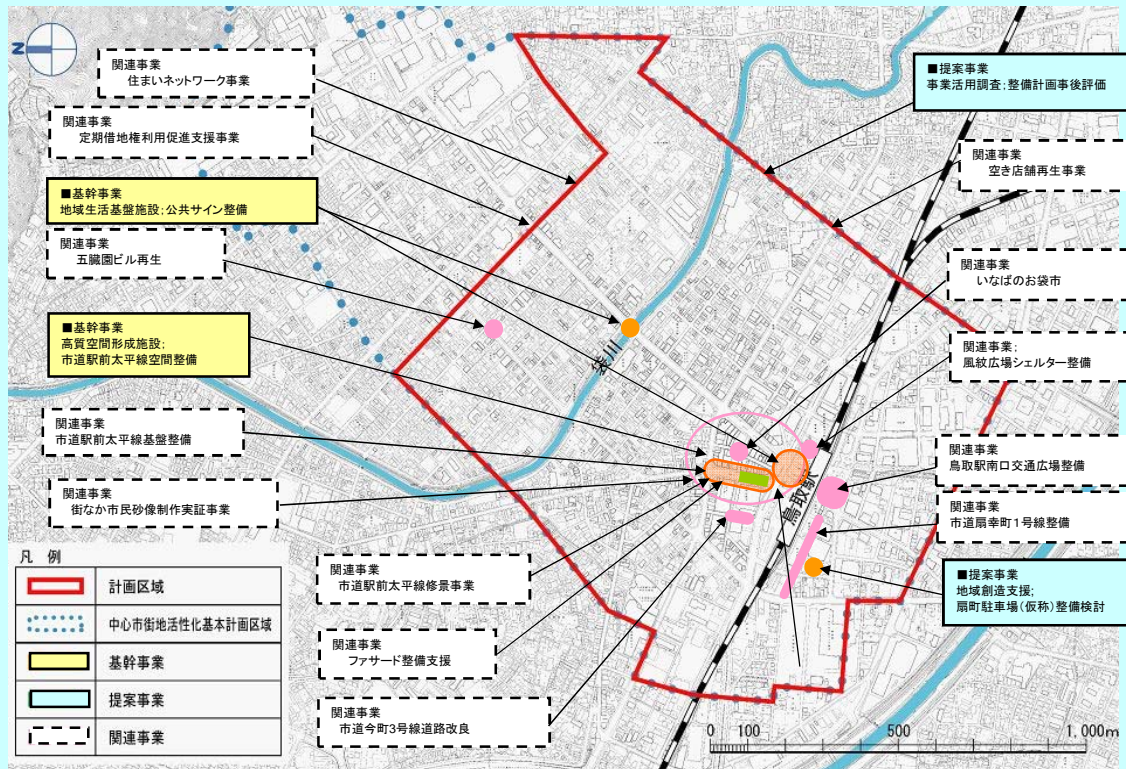
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鳥取県		市町村名	鳥取市		地区名	鳥取駅周辺地区			面積	150ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	880百万円	国費率	45%				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	【地域生活基盤施設】公共サイン整備 【高質空間形成施設】市道駅前太平線空間整備									
			提案事業										
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	なし									
			提案事業	【地域創造支援事業】扇町駐車場(仮称)整備 【事業活用調査】整備計画事後評価		駅の近隣に公共駐車場を整備し、駅周辺の商業施設などへの来訪者の利便性を向上するとともに、パークアンドライドによる公共交通との連携など、交通結節点機能を高めることで、県内外からの観光、買い物客等交流人口の増加を図るため、駐車場整備事業を追加した。			すべての目標に関連する事業であるが、指標及び数値目標に影響が少ないと思われるため、据え置く。				
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし					
		変更	平成22年度～平成26年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行者交通量(平日)	人	14,030	H20	14,600	H26	モニタリング	評価値	×	あり なし ●	新鳥取駅前地区商店街のエリアでは増加がみられたが、周辺のエリアに効果が波及していない。	平成27年11月
	指標2	街歩き環境満足度	%	14	H21	30	H26		64.9	○	あり なし	駅前太平線が新たな賑わい拠点となったことにより魅力が向上した。	-
	指標3	区域内人口	人	10,699	H21	11,000	H26		10,643	×	あり なし ●	民間による集合住宅の建設などの定住人口増に直接つながる要素が少ないうえ、少子高齢化による自然減の影響を強く受けた。	平成27年4月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	市道駅前太平線沿線の空き店舗数	店舗	7	H23				2			駅前太平線が新たな賑わい拠点となったことにより出店が進んだ。	-
	その他の数値指標2	市道駅前太平線周辺の歩行者交通量(平日)	人	20,940	H20				21,589			駅前太平線が立ち寄りやすい場所となったことにより来街者が増加した。	-
	その他の数値指標3	市道駅前太平線周辺の歩行者交通量(休日)	人	16,862	H20				23,824			駅前太平線が新たな賑わい拠点となったことにより来街者が増加した。	-
4) 定性的な効果発現状況	<p>・市道駅前太平線賑わい空間活用として、地元商店街が週末を中心としてイベントの企画運営を行っている。平成25年7月7日にオープンして以来、平成25年度は、イベント数38件、来場者数約8万5千人、平成26年12月末現在、イベント数26件、来場者数約5万2千人となっている。また、平成26年2月からは、道路占用の特例を活用した芝生広場へのテーブルやイスなどの休憩施設の設置により、市民に憩いの場を提供している。</p> <p>・100円循環バスぐる梨のコースを2コースから3コースへ追加運用したことで、追加前の平成24年度においては年間約29万人であった利用者が、追加後の平成25年度においては年間約36万人に増加している。これは、まちなかでの移動利便性が向上したことによる効果と考えられる。</p>												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス		鳥取市中心市街地活性化協議会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も地元商店主や住民などの意向把握し、事業に対する理解や協力を得るため継続していく				
	持続的なまちづくり体制の構築		鳥取市中心市街地活性化協議会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も組織の活動を支援していく				

## 様式2-2 地区の概要

### 鳥取駅周辺地区(鳥取県鳥取市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標: まちなかの拠点を活かし、便利で魅力的なにぎわいと活気ある都心核形成	歩行者交通量	単位: 人	14,030 H20	14,600 H26	13,495 H26
	街歩き環境満足度	単位: %	14 H21	30 H26	64.9 H26
	区域内人口	単位: 人	10,699 H21	11,000 H26	10,643 H26
目標1: 駅前広場や道路空間等のオープンスペースを高度利用した拠点性の向上		単位:	H	H	H
目標2: 歩行者ネットワークの充実による回遊性の向上		単位:	H	H	H
目標3: 利便性の向上による都心回帰の推進		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前太平線でイベントを開催することにより、新たな賑わいが創出され集客力が向上しているが、個店の売り上げ増加にはつながっていない。</li> <li>街なかのイベントを同日に開催することで、回遊性向上に取り組んだが、情報提供や情報共有が不足している。</li> <li>くる梨のコースを追加運用した結果利用者が増えており、停留所などが滞りやすくなる場所での過ごしやすさにも着目する必要がある。</li> <li>鳥取大学、環境大学の街なかキャンパスが平成26年に開設、また、平成27年4月には医療看護専門学校が開校するため、若者の来訪を将来の定住につなげる機会として活かす施策が必要である。</li> <li>老朽化した看板などの施設は、落下や損壊などの危険性ととも、景観に対する悪影響も懸念される。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き店舗対策や、個店の魅力を向上する取り組みの啓発、各種催しの情報発信強化などにより、新規創業機会や人の来訪動機を増加させる。</li> <li>駅周辺の歩行者動線拡充や、たまり場などの憩える環境を整備することで、来訪者の利便性を高め、回遊性を向上させる。</li> <li>宅建協会との連携や、リノベーションの手法によるまちづくりを通じて、空き家や空き地など遊休不動産の活用を促進し、暮らしつづけやすい環境づくりを目指す。</li> <li>UJターン者への支援などにより定住促進を行なう。</li> <li>看板などの施設について、景観向上の視点を取り入れながら安全性を向上する取り組みを行なう。</li> </ul>